

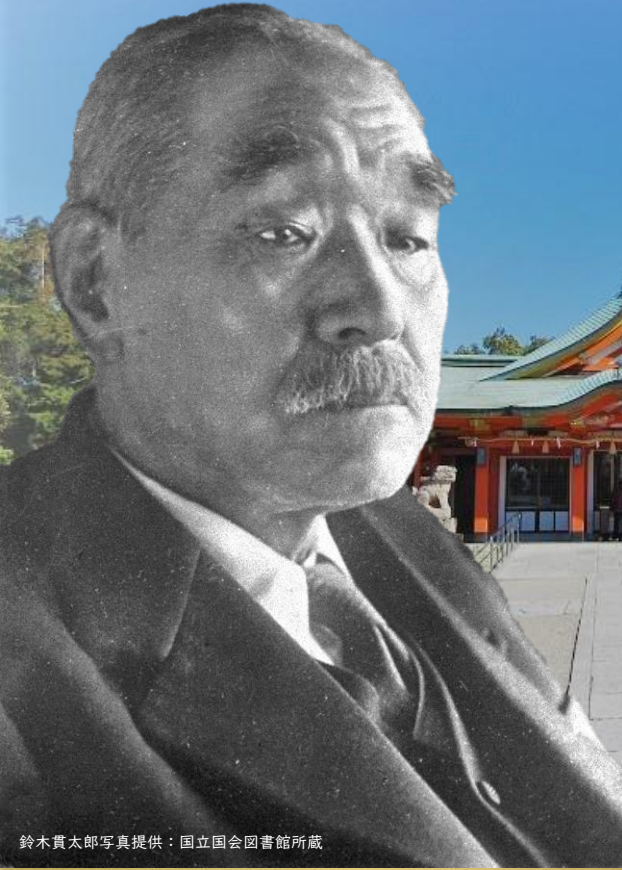


NPO法人堺観光ボランティア協会主催

2023年

10月7日(土)

戦争を終わらせた男 鈴木貫太郎 の生誕地を巡る



堺で生まれた総理大臣 昭和天皇の側近

昭和20年(1945)、78歳の貫太郎は高齢であることや、武人が政治に関わるべきでないという信条から固辞するものの、昭和天皇の希望もあって総理大臣に就任。貫太郎は表面上「聖戦完遂」を説くが、真意は自分の内閣を「終戦内閣」にすることにあった。
(NHK歴史秘話ヒストリアより)

鈴木貫太郎写真提供：国立国会図書館所蔵

泉北の緑道を楽しみながら、関宿藩久世氏の代官の息子に生まれた貫太郎の生誕地に残る足跡をたどりましょう。代官所跡の生誕地顕彰碑、二・二六事件のお礼参りをした多治速比売神社、代官鈴木家を支えた大庄屋中辻家、久世氏菩提寺海岸寺ではご本尊の稀有な仏像「大随求菩薩」などを拝観する歴史ウォークです。

コース (約7km)

泉北高速泉ヶ丘駅 → 泉北緑道 → 多治速比売神社
→ 中辻家(福生会) → 生誕地顕彰碑(代官所跡)
→ 原池公園(昼食) → 海岸寺 → 清水太子堂
→ 原池公園 → (バス移動) → 泉北高速泉ヶ丘駅

開催日時：10月7日(土)

集合/解散場所：泉北高速泉ヶ丘駅

集合/解散時間：9時30分/15時30分

参加費：500円(帰りのバスは各自負担)

定員：先着30名

申し込み：HP、LINEの申し込みフォーム



※このウォークにご都合が悪く参加できない方は、モデルコースとし
随時受付いたしますので、下記よりお申し込みください。

お申込み・お問い合わせは、NPO法人堺観光ボランティア協会

TEL: 072 (260) 4441

Mail :sakaikanbo@joy.ocn.ne.jp

鈴木貫太郎と堺

戦争という最悪の人災を終わらせることがいかに難しいかを、21世紀の今我々は実感させられています。凡そ80年ほど前、本土決戦一億玉砕の危機から日本を救い、太平洋戦争を終戦に導いたのは、堺が生んだ総理大臣鈴木貫太郎でした。

貫太郎は、明治維新前夜、関宿藩（久世氏）の和泉国代官所（堺市中区）で生まれましたが、生誕地の代官所跡には、「鈴木貫太郎生誕の地」の顕彰碑が建てられており、昭和6年、貫太郎も現地を訪れています。

多治速比売神社には、貫太郎が海軍中将時代に奉納した玉垣石や、「敬神崇祖」の扁額があり、二・二六事件で至近距離から4発の銃創を受けながら奇跡的に生き残った貫太郎夫妻がお礼参りをしたことで有名な神社です。

代官鈴木家を助け、久世領の財政を支えた大庄屋中辻家は、維新後も鈴木家との交流は続き、貫太郎から贈られた書「福生積善」の精神を受け継ぎ、自宅を終戦後の窮民を救済する施設とし、昭和26年全国で初めて社会福祉法人の認可を受けた「福生会」として、今も社会福祉の総合施設として活動を続けています。

久世氏の菩提寺となった海岸寺には、藩士の墓所や歴代藩主の位牌が祀られています。ご本尊の「大随求菩薩」は、仏像として彫られることが少ない稀有の菩薩像で、京都清水寺では200年に一度しかご開帳されない秘仏ですが、海岸寺さまでは、特別に拝観することが許されました。



多治速比売神社



大随求菩薩



生誕地顕彰碑



海岸寺